

平成31年度 猪名川町・中学校 学習到達度調査の結果について

■ 調査目的

- 猪名川町内の中学校生徒の学習状況を調査し、学習指導要領に定められた学習内容の定着状況を把握するとともに、今後の学力向上および指導の改善に資する。

■ 調査内容

- 調査目的に基づき、学習指導要領に定める内容について、基礎・基本および活用の力を測る問題で構成した。

■ 調査対象

- 猪名川町内の公立中学校2年生の生徒
- 調査対象教科は、国語・数学・英語

■ 調査日

平成31年4月18日（木）

■ 調査結果

【中学校の調査結果】

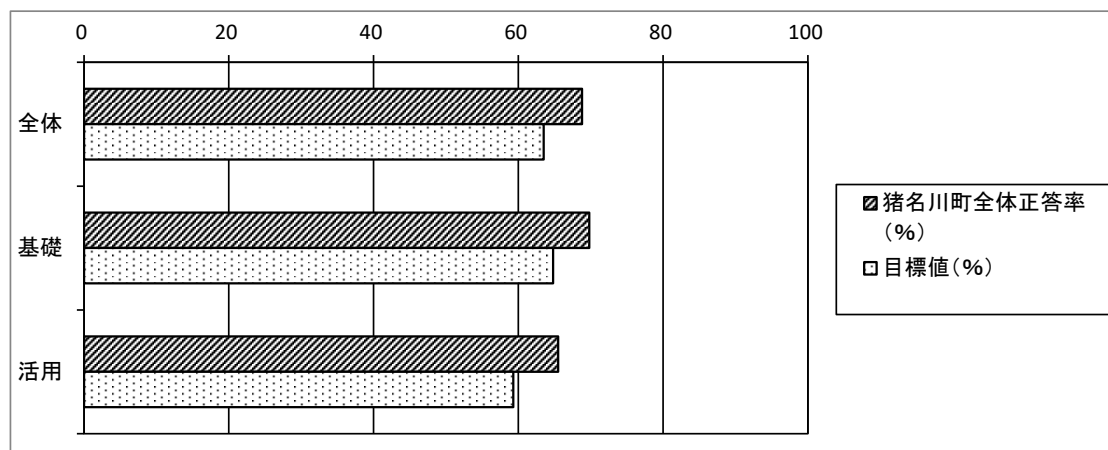
		猪名川町全体 正答率 (%)	全国平均 正答率 (%)	目標値 (%)	全国平均との差	受験者数
中学校・ 2年生	国語	68.8	66.4	63.5	2.4	340
	数学	54.5	53.7	54.0	0.8	340
	英語B	58.9	60.7	59.7	▲ 1.8	340

※「目標値とは、学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合、設問ごとに正答できることを期待した生徒の割合。出題の形式や解答の形式により、難易度を算出する。

町全体の正答率は、目標値を国語5.3ポイント、数学0.5ポイント上回り良好であるが、英語が0.8ポイント下回っている。

■中学校2年生 国語
(1) 基礎・活用正答率

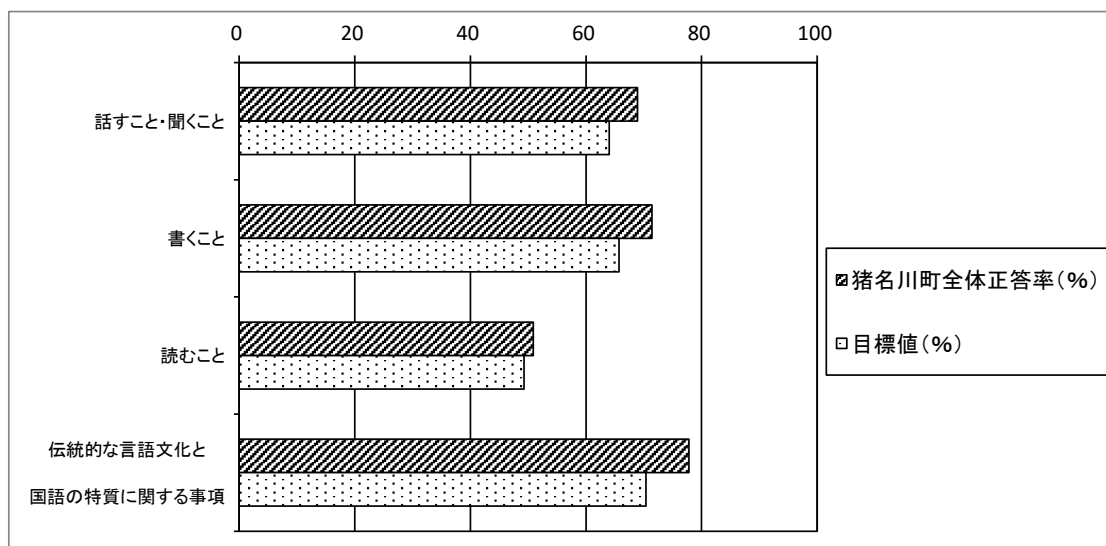
	全体	基礎	活用
猪名川町全体正答率(%)	68.8	69.8	65.5
目標値(%)	63.5	64.8	59.3
目標値との差	5.3	5.0	6.2



●基礎・活用別に見ると、基礎問題は69.8%と目標値を5.0ポイント上回っている。活用問題については、65.5%と目標値を6.2ポイント上回っており良好な状態である。

(2) 領域別正答率

	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と・国語の特質に関する事項
猪名川町全体正答率(%)	68.9	71.4	50.9	77.8
目標値(%)	64.0	65.7	49.3	70.4
目標値との差	4.9	5.7	1.6	7.4

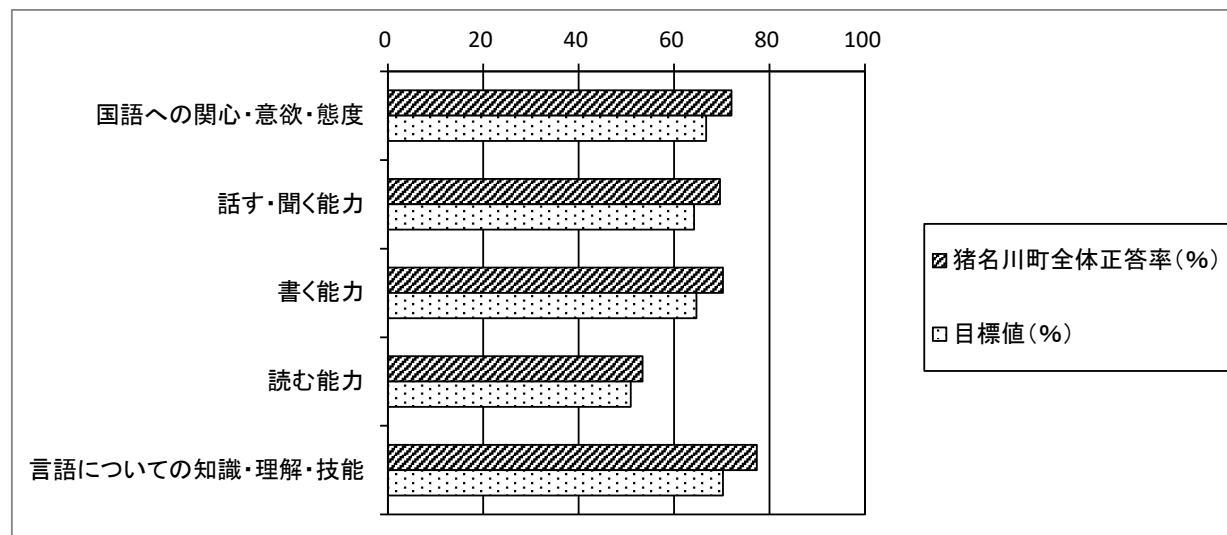


●領域別に見ると、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」すべてで目標値を上回り良好である。

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

(3) 観点別正答率

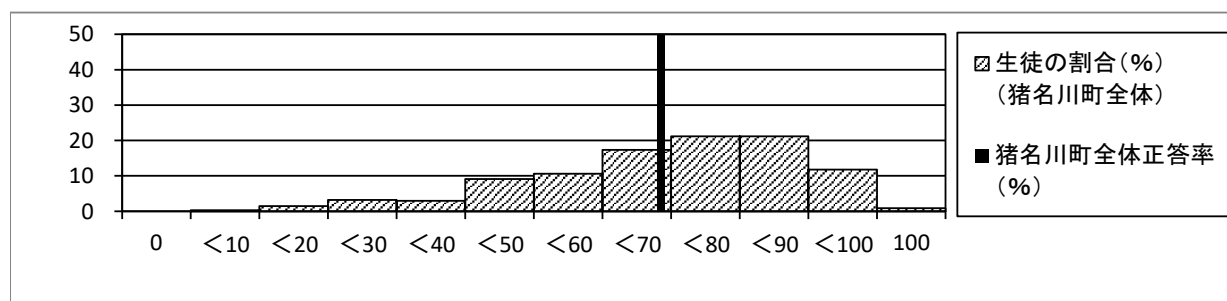
	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能
猪名川町全体正答率(%)	72.0	69.6	70.2	53.4	77.3
目標値(%)	66.7	64.2	64.7	50.9	70.2
目標値との差	5.3	5.4	5.5	2.5	7.1



●観点別に見ると、「国語への関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」すべてで目標値を上回り良好である。

(4) 正答率度数分布

正答率(%)	0	<10	<20	<30	<40	<50	<60	<70	<80	<90	<100	100
生徒の割合(%) (猪名川町全体)	0.0	0.3	1.5	3.2	2.9	9.1	10.6	17.4	21.2	21.2	11.8	0.9



●町全体で正答率80%以上の生徒が33.8%と、昨年度の23.9%を大幅に上回り良好である。一方、正答率50%未満の生徒は17.1%と、昨年度の14.4%を若干上回り、課題がある。

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

(5) 課題のある小問についての分析

大問1(2)

【話し合いの内容を聞き取る】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	44.7	45.0	▲ 0.3	47.0	▲ 2.3
出題のねらい	聞き手に理解してもらうための話し方の工夫を聞き取ることができる。				
対策	本問では、話し手が、話し合いの参加者に対して、同意を促したり問いかけたりしながら話している。こうした話し方の工夫は、話し手にとっては自分の意見を整理するのに役立ち、聞き手にとっては内容を理解しやすくなるというよさがある。発表学習において、発表の仕方が優れていた場合には、皆の前でそのよさを紹介し、共有することが大切である。				

大問2(1)①

【漢字を読む】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	85.3	85.0	0.3	84.3	1.0
出題のねらい	第1学年までに学習した漢字を読むことができる。				
対策	漢字の学習については、新出漢字を押さえていくだけでも大変である。特に大切なことは、学習したことを活用できるような場を設定していくことである。漢字の小テストを行うだけではなく、生徒どうしが問題を作って出し合うといったように、クイズ形式で学ぶ機会を設けるなど、さまざまな指導の工夫を行っていきたい。				

大問5(2)

【文学作品の内容を読み取る】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	33.2	40.0	▲ 6.8	34.1	▲ 0.9
出題のねらい	登場人物の心情をとらえることができる。				
対策	正答できなかった生徒は、文章全体から登場人物の考え方を読み取ることができず、場面や設定からの推察で答えてしまっている場合が多いと考えられる。登場人物の心情は、一般的な知識や先入観で捉えるのではなく、文章全体を通した登場人物の言動や情景描写、文脈から読み取るということを指導することが重要である。				

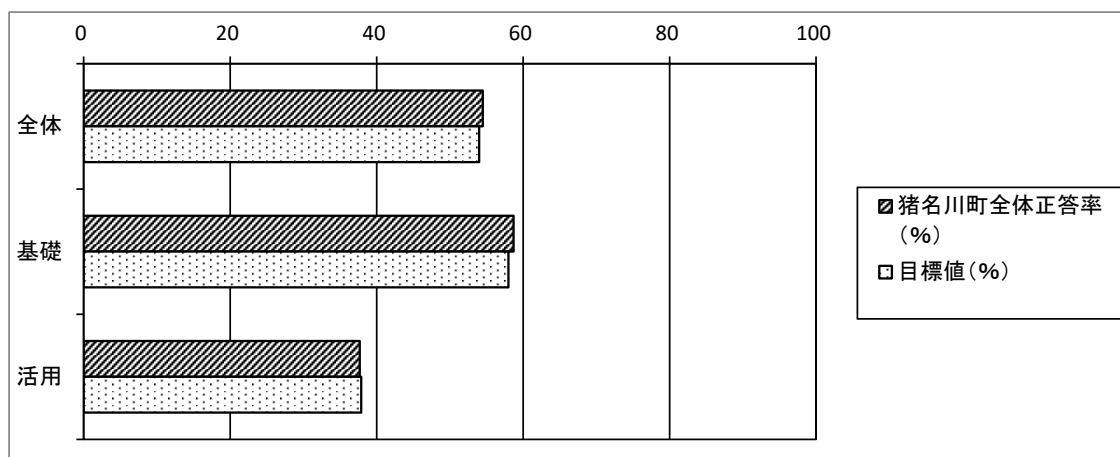
大問7

【作文】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	65.0	65.0	0.0	67.3	▲ 2.3
出題のねらい	読み取った内容を明確にして書くことができる。				
対策	本問で大切なことは、文章全体を一つのまとまりとして、適切な論の展開ができるかということである。そのため、第一段落の書き出しをどのように始めるのか、それに伴い第二段落はどのように続けていくのかを考え、段落相互の関連を図っていくことがポイントになる。				

■中学校2年生 数学
(1) 基礎・活用正答率

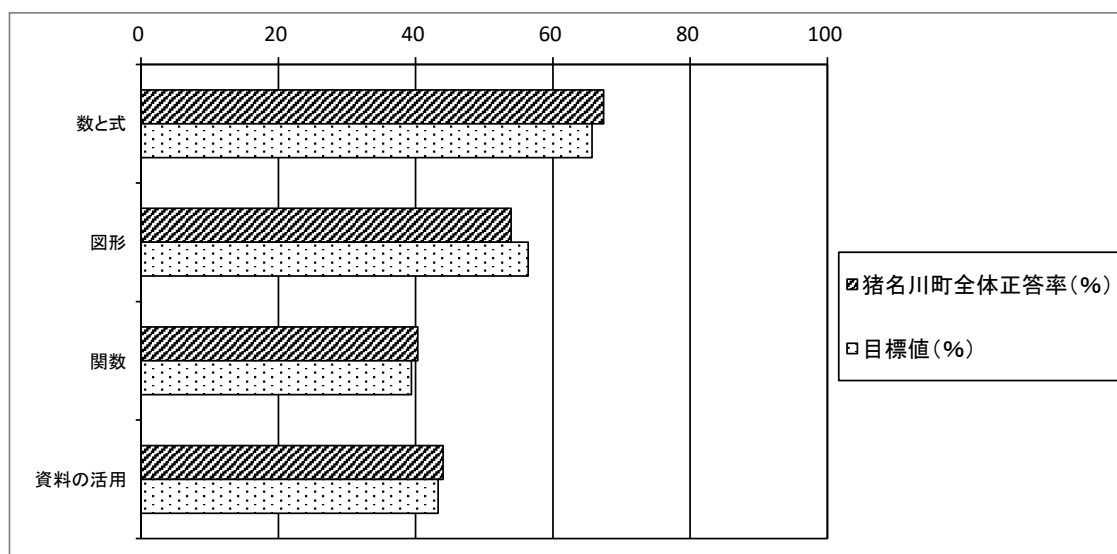
	全体	基礎	活用
猪名川町全体正答率 (%)	54.5	58.7	37.7
目標値 (%)	54.0	58.0	37.9
目標値との差	0.5	0.7	▲ 0.2



●基礎・活用別に見ると、基礎問題は58.7%と目標値を0.7ポイント上回っているが、活用問題は37.7%と目標値を0.2ポイント下回っている。

(2) 領域別正答率

	数と式	図形	関数	資料の活用
猪名川町全体正答率 (%)	67.4	53.9	40.3	44.0
目標値 (%)	65.7	56.4	39.4	43.3
目標値との差	1.7	▲ 2.5	0.9	0.7

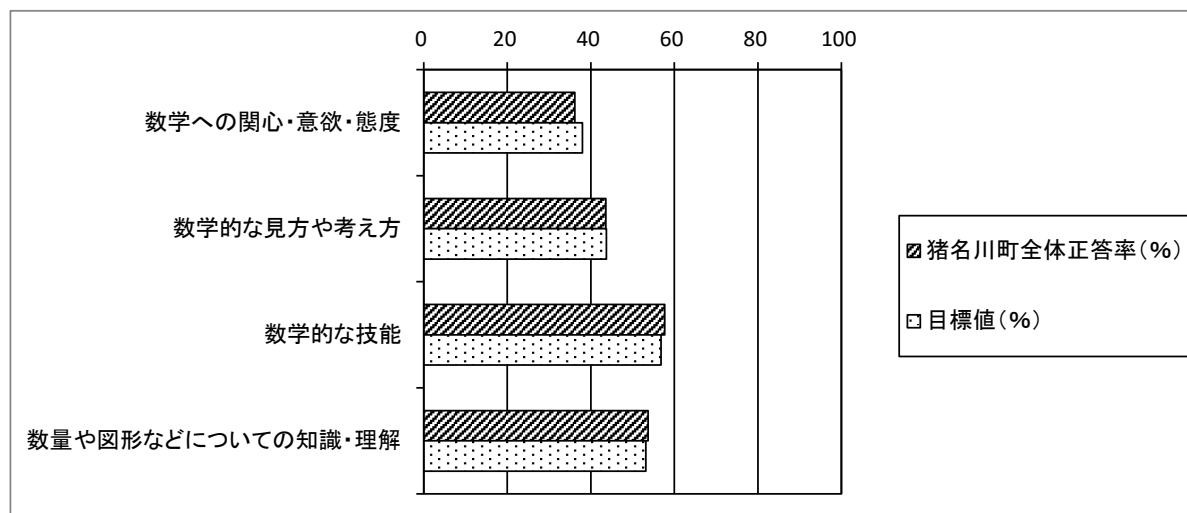


●領域別に見ると、「数と式」「関数」「資料の活用」は目標値を上回り良好であるが、「図形」は目標値を下回っており、課題がある。

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

(3) 観点別正答率

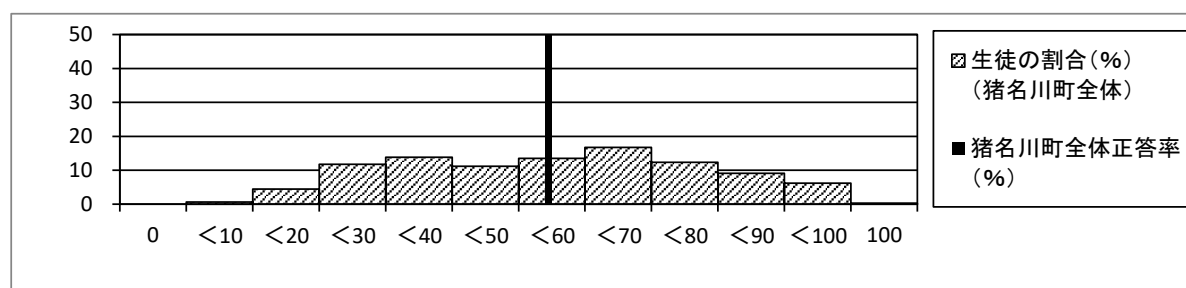
	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解
猪名川町全体正答率(%)	36.2	43.6	57.7	53.7
目標値(%)	38.0	43.7	56.8	53.2
目標値との差	▲ 1.8	▲ 0.1	0.9	0.5



●観点別に見ると、「数学的な技能」「数量や図形などについての知識・理解」は目標値を上回り良好であるが「数学への関心・意欲・態度」「数学的な見方や考え方」は目標値を下回っており、課題がある。

(4) 正答率度数分布

正答率(%)	0	<10	<20	<30	<40	<50	<60	<70	<80	<90	<100	100
生徒の割合(%) (猪名川町全体)	0.0	0.6	4.4	11.8	13.8	11.2	13.5	16.8	12.4	9.1	6.2	0.3



●町全体で正答率80%以上の生徒が15.6%と昨年度の25.4%より減少し、正答率50%未満の生徒は41.8%と昨年度の26.0%より増加した。上位層が減少し、下位層が増加と、課題があ

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

(5) 課題のある小問についての分析

大問4(1)

【正の数・負の数】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	78.8	85.0	▲ 6.2	85.4	▲ 6.6
出題のねらい	絶対値について理解している。				
対策	絶対値について正しく述べた選択肢を選ぶ問題である。数直線を用いて絶対値の意味を理解させるとともに、同じ絶対値に対し正負2つの数があることを確認しておく必要がある。また、正の数は絶対値が大きいほど大きい、負の数はどうかを考えさせるなどして、絶対値の理解を深めさせるとよい。				

大問12

【平面図形】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	18.5	30.0	▲ 11.5	16.9	1.6
出題のねらい	線分の垂直二等分線を作図し、三角形の面積を2等分する直線を作図することができる。				
対策	誤答の主な原因としては、どのような作図をすればよいのかが分からないこと、垂直二等分線を作図方法を忘れたことなどが考えられる。頂点Aを通り、△ABCの面積を2等分するには、底辺BCの中点を通る直線を引けばよいことを理解させ、中点を求めるにはどのような作図をすればよいのかを考えさせるとよい。垂直二等分線や角の二等分線などの基本的な作図ができるようにさせるだけでなく、作図とその線の意味を理解させることが大切である。				

大問16(2)

【比例・反比例】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	13.5	30.0	▲ 16.5	11.2	2.3
出題のねらい	与えられた式から問題を解決する方法を数学的に説明することができる。				
対策	誤答の主な原因としては、【わかったこと】の内容が理解できないこと、【わかったこと】の内容は理解できるが、どのように説明すればよいのかが分からないことなどが考えられる。まず、【わかったこと】の内容をしっかりと押さえた上で、 $y=x/4$ に $y=20$ を代入して、 x の値を求めればよいことを理解させたい。答えは求められるが、説明を苦手とする生徒がいるので、普段の指導の中で、式の意味や求め方を具体的に説明させるなどして、説明することに慣れさせることが大切である。				

大問17(3)

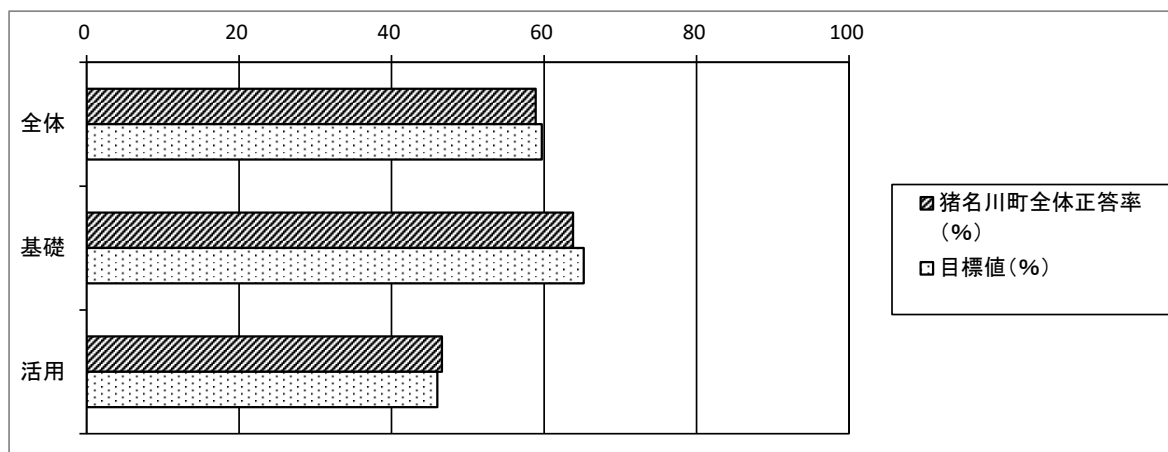
【資料の散らばりと代表値】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	22.6	30.0	▲ 7.4	23.0	▲ 0.4
出題のねらい	度数分布多角形の特徴を読み取り、説明すべきことがらについて数学的に説明することができる。				
対策	誤答の主な原因としては、相対度数の度数折れ線について習熟していないこと、度数折れ線については理解しているが、どのように説明したらよいのかが分からないことなどが考えられる。2つの度数折れ線がほぼ同じ形をしており、使用時間が3時間未満の度数折れ線の方が右側にあることから、成績がよいと判断できる。2つの度数折れ線の特徴を正しく読み取れば、説明できることを理解させるとよい。また、「説明する」＝「難しい」と考える生徒もいるので、普段の指導の中で、生徒の苦手意識を取り除いていきたい。				

■中学校2年生 英語

(1) 基礎・活用正答率

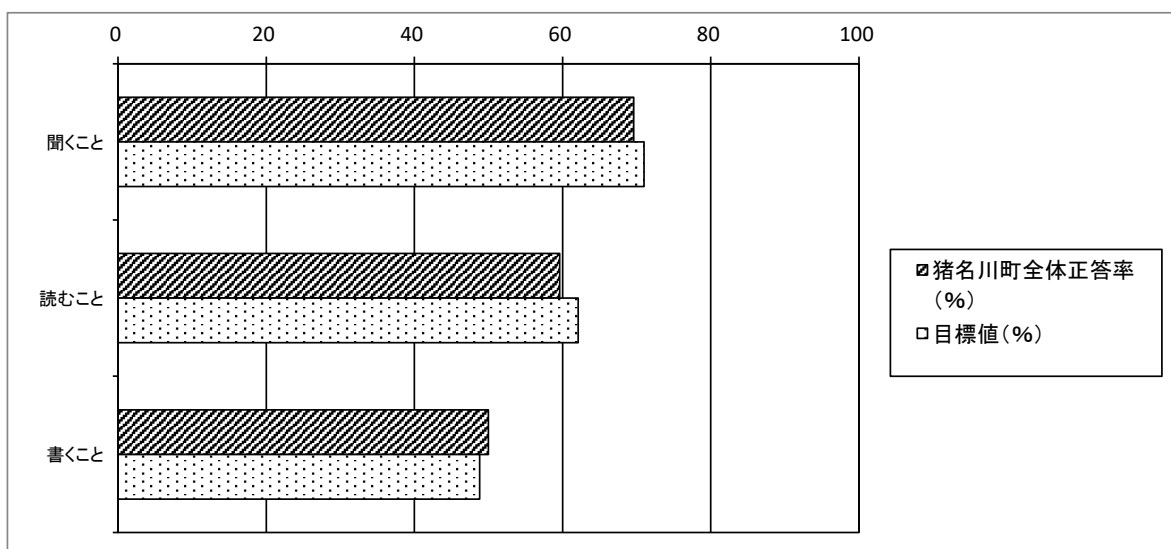
	全体	基礎	活用
猪名川町全体正答率(%)	58.9	63.8	46.6
目標値(%)	59.7	65.2	46.0
目標値との差	▲ 0.8	▲ 1.4	0.6



●基礎・活用別に見ると、基礎問題は63.8%と目標値を1.4ポイント下回っており課題があるが、活用問題は46.6%と目標値を0.6ポイント上回り良好である。

(2) 領域別正答率

	聞くこと	読むこと	書くこと
猪名川町全体正答率(%)	69.6	59.6	50.0
目標値(%)	71.0	62.1	48.8
目標値との差	▲ 1.4	▲ 2.5	1.2

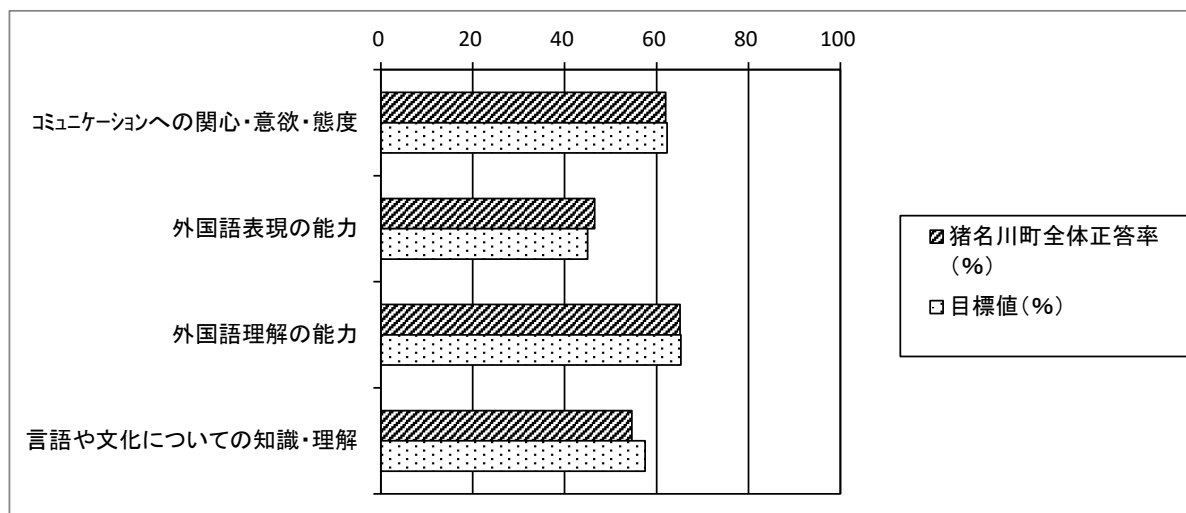


●「書くこと」は目標値を上回り良好であるが、「聞くこと」「読むこと」は目標値を下回っており、課題がある。

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

(3) 観点別正答率

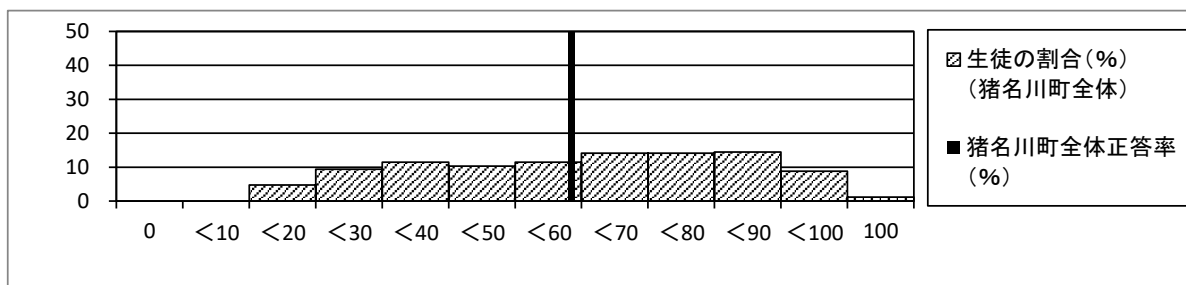
	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語表現 の能力	外国語理解 の能力	言語や文化 についての 知識・理解
猪名川町全体正答率(%)	62.0	46.5	65.1	54.6
目標値(%)	62.3	45.0	65.3	57.5
目標値との差	▲ 0.3	1.5	▲ 0.2	▲ 2.9



●観点別に見ると「外国語表現の能力」は目標値を上回り良好であるが、「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」「外国語理解の能力」「言語や文化についての知識・理解」は目標値を下回っており、課題がある。

(4) 正答率度数分布

正答率(%)	0	<10	<20	<30	<40	<50	<60	<70	<80	<90	<100	100
生徒の割合(%) (猪名川町全体)	0.0	0.0	4.7	9.4	11.5	10.3	11.5	14.1	14.1	14.4	8.8	1.2



●町全体で正答率80%以上の生徒が24.4%と昨年度の26.6%より減少し、正答率50%未満の生徒は35.9%と昨年度33.9%より増加した。上位層が減少し、下位層が増加と、課題がある。

※この数値は小数点以下での誤差が生じる場合があります。

(5) 課題のある小問についての分析

大問2(2)

【リスニング(対話文の応答)】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	38.2	65.0	▲ 26.8	55.1	▲ 16.9
出題のねらい	対話の内容を聞き取り、適切に応答することができる。(ヴァイオリンを弾くことはできるかとたずねられて)				
対策	リスニングは、常に集中力を必要とする問題である。リスニング力を上げるためには、たくさん聞くことが必要であるが、そのほかに、①1回で聞き取る気持ちで臨ませ、2回目は確認するように促すこと、②聞かせた後で、必ずスクリプトを見せながら、もう一度聞かせる(聞き取れなかった部分を確認させる)こと、③聞いた内容を書き取るdictationを頻繁に行うことなどが有効である。また、リスニング力は文法力、読解力などとも相互関係があるので、いろいろな活動をさせる中で鍛えさせたい。				

大問5(2)④

【語彙の知識・理解】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	30.0	50.0	▲ 20.0	48.9	▲ 18.9
出題のねらい	単語を正しく書くことができる。(季節)				
対策	昨今コミュニケーション能力の育成を重視する傾向があり、英語を書く活動の指導に割く時間が少なくなっている。そのため、単語を書くことを苦手とする生徒が多いのは事実である。授業においては、単語の小テストなどを定期的に行い、書くことに対して抵抗感をもたせないようにする指導が必要である。なお、単語テストでは、復習として過去に学習したものを繰り返し出題するなど、反復学習させることが大切である。				

大問7(4)

【長文の読み取り】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	22.9	30.0	▲ 7.1	23.0	▲ 0.1
出題のねらい	読み取った内容をふまえて、英文を完成させることができる。				
対策	本問は、本文のメールに対する返信の穴埋め問題であるため、解答は本文中にあると考えられる。その点に気付かせた上で、正答を探すことを基本とするように指導したい。このような問題に対処させるためには、教科書本文の要約を書かせることが有効である。中学校の教科書本文自体が要約的な内容なので、本格的に要約することは難しいが、極めて短く端的な要約であれば可能であろう。「その物語について、まったく知らない小学生に伝えるつもりで要約してみなさい」というような具体的な指示をするとよい。				

大問9(1)

【場面に応じて書く英作文】

	猪名川町全体正答率	目標値	目標値との差	全国正答率	全国との差
正答率(%)	26.3	30.0	▲ 3.7	17.4	8.9
出題のねらい	対話の流れに合った英文を書くことができる。(whenを使って祖父を訪ねる時期をたずねる)				
対策	“We visit him in August and December.”の一文から推測して、whenという疑問詞を使うことに気付くこと、疑問詞whenの後ろは疑問文の形となることを文法的に把握していることなどが重要である。また、対話文では、対話全体の流れをつかむことが大切である。授業においては、オリジナルのスキットを作らせることで対話の流れを考えさせたり、教科書にある対話の一部を空欄にして、想像させたりするとよい。				